

広報たしる

No. 282

昭和52年3月1日

田代町総務課編集



卒業

春のうらかな日射しを浴びて、校庭の樹木にも新芽の萌えるころ、県立南大隅高等学校田代分校の第五回卒業生九八人が学びの窓に別れを告げました。

先生の「卒業は終わりではなく、始まりである」の励ましの言葉を胸にして、それぞれが新しい社会へ大きく大きく前進していくことでしょう。

ここから卒業のお祝いを申しあげます。

三月の行事予定

- 11日(金) 定例議会
- 18日(金) 中学校卒業式
- 21日(月) 春分の日
- 23日(水) 小学校卒業式
- 26日(土) 保育所入所式
- 30日(水) 農業委員会



私共、大隅開発期成会役員十六名は、開発先進地視察団を編成し、二月十五日から二十日まで五泊六日間にわたり、阪神方面の工業視察を終えましたので、その概要を報告します。

視察団一行は、二月十五日に田代を出発、日向港に向う車中では、大隅開発を中心議題にした熱心な討論が生まれ、この雰囲気はそのまま船内にまで持越されました。

十六日翌朝、大阪南港に上陸し、バスはまっすぐ和歌山県有田市初島町の東亜燃料工業和歌山工場に向い、ここを二時間近く見学しました。

当工場はナフサ、灯油、LPガス、ガソリン、軽油、潤滑油、ワックス、アスファルトなど、日産一八万七千バレルの規模を持つ石油精製工場です。

前方に長く横たわる岸壁は、原油を運び込む大型タンカー、精品を積み出す中型、小型のタンカーが四六時中往来しています。



視察団長 小川 兵一

工業視察を終えて

が、タンカは総て荷役作業開始前に、船のまわりをオイルフェンズで張ることが義務づけられています。

きれいに澄み切った海は、今だかつて油の流出事故もなく、休日における大公望の釣を楽しむ姿は情緒的で、ここ和歌山工場の特色だということでした。

又、風光明媚で好漁場として知られる紀伊水道や紀州みかんで名高い有田地方特産のみかん山の恵まれた美しい自然環境を、絶対に汚染しないとの方針で、当工場は、公害防止と安全確保に最善の努力をはらっていたようです。

まだ改善されていないなかった昭和四十五年は、みかん農家への公害補償問題で会社も一苦勞したが、その後の煤煙対策で公害騒ぎは全く起きていないのことでした。

次は雇用関係についてふれておきます。

従業員は本工場が千三百名、各関連工場に千二百名です。この従業員の出身別内訳は、地元雇用が五十パーセント（大半が農家出身）、近郊農村者が三〇パーセント、その他二〇パーセントとなっていて、ここでは立

派に農工一体化が成り立っていると思いました。

明けて十七日は、海拔九百八十メートルの高野山町に登り、三十万基にもおよぶと言われるおびただしい仏像の霊気にふれ身を淨めて下山しました。

この高原に位置する高野山町は、人口八千人で、学校も小学校から大学校まで揃っているのには、一同びっくりしました。

又、高野山町には個人所有の土地は一坪もなく、全部が高野山山の領地で、住民は総て本山に借地料を払っているようです。

この町は、普通の自治体とは違った異国のような感じのするところでした。

翌十八日は、降雪を気にしながら三重県四日市の工業視察に出かけました。

バスの中から見る名阪高速道路は全線にわたり、中央分離帯の植樹や、道路側面の草木、ガードレールなどが排気ガスのためどす黒く黒ずみ、排気ガスで生命力を失った樹木がいたるところに見受けられました。

車公害の恐ろしさをまざまざと思い知らされながら、四日市市役所に着きました。

市役所では、私共一行の来訪を待ち受けて、課長補佐の宮田氏が案内役を引受けてくださいました。

ここ四日市市は面積百九十九・九六K^m、人口二十四万五千四

百五十二人で、工場数は従業員千人以上のもの富士電気など五工場、五百人から九百九十九人が大協石油など十四、三百人から四百九十九人が六、百人から百九十九人が二十七、五十人から九十九人が六十四工場、その他三十人位の工場だけでも百九十工場を越えていて、特に工場群の中に街があると言った感じの都市であります。

富田氏が一番最初に強調されたことは、「大隅からも開発反対、賛成両派が入れ変わりを立変わりに見えてくるが、どの組も日帰りで行くとおり視察されるだけだ。これらの方々には特にお願いしていることは、一日とおり一辺に四日市を見学しただけで、四日市はどうだこうだと言っではいけない」と言うことです。

四日市市と云えば、四日市ぜんそくで全国に名をはせたところですが、現在、市には呼吸器病認定患者が、人口二十四万人中千八百十人で、他の地域に比較して決して低い数字ではないが、これは、公害たれ流し時代の旧患が大半を占めているそうです。

その後、市の公害取締りの強化で新患の発生件数は徐々に低下し、今日では四日市ぜんそくの汚名は、過去のものとなりつつあるとのことでした。

市としては、認定が難かしくてどこで基準線を引きようもなく、呼吸器病患者者はほとんど、公

害患者として認定しなければならぬ状態で、これが現在も市の悩みのようです。

よって、公害規制問題には市の命運をかけて取り組んでいたようです。

市と企業との公害規制協定では、チッソ酸化物、オキシダン濃度を〇・〇一七PPM以下に抑えるようにし、これを上まわるときは、工場側に警告して濃度が下るまで操業を中止させるなど、厳しい規制ができるようになっていました。

この規制に企業は従い、公害防止へは自から全力を注いでたようです。

四日市市内を急ぎ足で、ひととおり案内していただき感じたことは、海も空もきれいに澄んで美しいでした。

五日間の工業視察を終えて特に感じたことは、次のとおりです。

一、公害規制法により、企業は住民や行政当局の監視の目をのがれられなくなったこと。

二、公害たれ流し企業は、今日補償問題や社会制裁により、自滅の時代にある。

三、企業は、公害防止策には社運をかけて真剣に取り組んでいる。

四、公害は必ず防げる。

五、今日は工業公害よりも自動車公害がひどい。

以上のとおり、開発先進地視察の見聞の結果をまとめてみました。

農地の用途転用は 農委へ許可の申請を！

定例農業委員会開かれる

二月の定例農業委員会は、二十五日に開会されました。そのおもな審議内容は次のとおりです。

農業委員会は、農地法第三条（農地の権利を移転）、同法第四條（自分の農地の用途変更）

例えば、山林にしたり宅地にしたり）、同法第五條（他人の農地を譲りうける用途変更）、その他農地を購入するための資金の借入申請、負債整理資金借入の申請、非農地証明の申請、



現地確認の報告の南園委員

二月は、農地法三条許可の申請が二十三筆（内訳は家族内での贈与関係が十一筆、規模拡大が十二筆）、同法四條許可の申請が六筆（全部山林にするもの）、同法五條許可の申請が三筆（全部山林にするもの）、また非農地の証明申請が八筆（内訳は、宅地一筆、山林七筆）、以上の申請について、各農業委員から現地調査の確認報告が発表され、慎重に審議されました。

このなかには、農地を山林にして他人の農地に将来めいわくなるような内容のものなどもあり、これらは今後現地調査を行なって、双方が納得の行くよ

固定資産税課税台帳の縦覧を

土地・家屋などの課税について疑問のある人は台帳の縦覧をおすすめします。

縦覧期間は、三月一日から三月二十日まで、

縦覧の場所は、役場税務課です。

街を自然を美しく
吸いがらの投げ捨てはやめましょう。



日本専売公社

みんな大ハッスル！

おわかれゆうぎ会



きまっていますネ

みんなでなくそう 交通事故!!

春の全国交通安全運動

実施期間 4月6日～4月15日



新入学児を

もつ親へ

まもなく新入学のシーズンがやってきます。

入学をひかえた子どもたちは、「早く学校に行きたい」とか、「学校はどんなところだろう」といった、期待と不安が入りまじり、また、親の方も何かと心ずかいが多くなります。

そこで、入学前の子どもに対するしつけや親の心得などについて述べてみます。

▽学校に対する不安の解消

子どもの学校に対する不安感を取り除き、入学を楽しみに待つようにさせることが大切です。「先生に叱られる」とか、「いじめっ子がいる」というような子どもに不安感を与えるような言葉を不用意に口に出してはいけません。

▽基本的な生活習慣

基本的な生活習慣として次のようなことを身につけておいてください。

- ①ひとりで起きられる
- ②手洗い、歯みがき、洗顔、うがいができる
- ③洋服がひとりで着がえられる
- ④ぬいだ服は、たたむ習慣をつける

⑤自分の持ちものは、自分で整理整頓できる

⑥用便がひとりでできる

▽通学にそなえて

学校までは、一人で行けるようにさせておきましょう。また、通学路は、前もって子どもといっしょに通行し、次のようなことを教えておきましょう。

- ①歩道があるところでは、必ず歩道を通行する
- ②歩道がないところでは、右側を通行する
- ③道路を横断するときは、できるだけ横断歩道や信号機のあるところを横断する。
- ④急に道路に飛び出さない
- ⑤車のすぐ前や後を横断しない
- ⑥ふざけながら道路を歩かない

▽学習

次のことができる程度にさせておいてください。

- ①名前を呼ばれたら、大きな声で「ハイ」と返事ができる
- ②自分の名前の読み書きができる
- ③両親の名前、住所が、はっきり言える
- ④あいさつができる
- ⑤右、左の区別ができる
- ⑥人の話を短時間おちついて聞ける

▽その他

①学用品などは必ず名前を書い

ておきましょう

②入学前に健康診断を受け、もし悪いところが発見されたら、入学までに治しておきましょう。

Ⅱ さくひん Ⅱ

学しゅうはつびよう会

田代小学校 二年

おのうしろなおみ

学しゅうはつびよう会の日になりました。わたしたちは、午前中に 見て 午後には、おかあさんがたに 見てもらいます。

わたしは、「かいをそろえて」に出るのです。

出番が 近づいたので きがえて まってました。

いよいよ わたしたちの番になりました。

(まちがわないで できるといけれど) と思いました。

まぐが、あいて レコードがなりだしました。わたしはとちゅうで まちがいそうになりました。

こしを ゆらゆらとふって おどりを する

場面では おかあさんたちがどつとわらいました。でも

いっしょうけんめい おどりました。

おかあさんたちも 手をたたいて くださいました。

人口のうごき

3月1日現在

世帯数	1,467戸
男	2,222人
女	2,568人
計	4,790人
(推計人口)	

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません